

B60G 車両懸架装置（空気クッション式車両 B 6 0 V ; 車体と車両フレーム間の連結 B 6 2 D 2 4 / 0 0） [5]

注

クラス B 6 0 のタイトルに続く注に注意すること。

サブクラス内の索引

剛性的懸架装置..... 1/00

弾性的懸架装置

一般的構造

単一車輪の; 一組のタンデム車輪の; 軸支した懸架腕とその付属品 3/00; 5/00; 7/00

2 以上の車輪用の剛性車輪または車軸箱..... 9/00

ばね; 振動緩衝器; またはばねと緩衝器の結合したものの配列,

位置, または種類に特徴があるもの..... 11/00; 13/00; 15/00

調整に特徴があるもの..... 17/00

地面の粗面度の検出手段をもつ懸架装置..... 23/00

弾性的に懸架した車輪の相互連結方式..... 21/00

その他の懸架装置..... 99/00

1/00 車軸とフレーム間が固着された懸架装置

1/02 ・連続した車軸をもつもの

1/04 ・分離した車軸をもつもの

3/00 単一車輪の弾性的懸架装置（軸支された懸架腕それ自体, 車両の振動部に対するその取付け, 腕の運動を制限するための緩衝手段 B 6 0 G 7 / 0 0 ; ばねの配列, 位置, または形式に特徴があるもの B 6 0 G 1 1 / 0 0）

3/01 ・摺動するように取付けられる車輪, 例. 垂直ガイド中にまたは上に（キャンバーをほぼ一定に保つ手段 B 6 0 G 3 / 2 6） [5]

3/02 ・単一の軸支腕をもつもの

3/04 ・腕が本質的に車両の長手軸と交差しているもの

3/06 ・腕が剛体であるもの

3/08 ・腕が車軸箱を形成するもの

3/10 ・腕自体が弾性体, 例. 板ばね, であるもの

3/12 ・腕が本質的に車両の長手軸と平行であるもの

3/14 ・腕が剛体であるもの

3/16 ・腕自体が弾性体, 例. 板ばねであるもの

3/18 ・2 以上の軸支腕をもつもの, 例. 平行四辺形

3/20 ・すべての腕が剛体であるもの

3/22 ・剛体腕が車軸箱を形成するもの

3/24 ・剛体腕が動軸で形成されるもの

3/26 ・懸架装置の作動中に車輪のキャンバーをほぼ一定に保つ手段

3/28 ・少なくとも腕の一つが弾性体, 例. 板ばね, であるもの

5/00 関連動作をする一組のタンデム車輪または車軸のための弾性的懸架装置

5/01 ・3 つ以上の連続する車軸をもつことに特徴があるもの [5]

5/02 ・単一の軸支腕に取付けるもの

5/03 ・腕そのものに弾力があるもの, 例. 板ばね (B 6 0 G 5 / 0 5 3 が優先) [5]

5/04 ・相互に弾性的な関連動作をする 2 以上の軸支腕をもつもの

5/047 ・少なくとも 1 つの腕に弾力があるもの, 例. 板ばね (B 6 0 G 5 / 0 5 3 が優先) [5]

5/053 ・板ばねが 2 つの車軸支持装置間の平衡装置として用いられるもの [5]

5/06 ・腕が共通軸上で回転するもの

7/00 軸支された懸架腕; その付属品（懸架装置の作動中に車輪のキャンバーをほぼ一定に保つ手段 B 6 0 G 3 / 2 6）

7/02 ・車両の振動部に対する腕の取付け

7/04 ・腕の運動を制限する緩衝装置

9/00 2 以上の車輪用の剛性車軸または車軸箱のための弾性的懸架装置

9/02 ・車軸または車軸箱が車両に回転可能に取付けられているもの

9/04 ・車軸または車軸箱が車両に回転不可能に取付けられているもの

11/00 ばねの配列, 位置, または種類に特徴がある弾性的懸架装置（それ自体弾性を有する軸支腕による単一車輪懸架装置 B 6 0 G 3 / 0 0 ; ばね特性の調整 B 6 0 G 1 7 / 0 0 ; ばねそれ自体 F 1 6 F）

注

このグループにおいては, 下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる:

— “ねじり棒” はねじり管またはその類似物を含む;

— “ゴム” は似た性質の合成の代用品を含む。

11/02 ・板ばねのみをもつもの

11/04 ・車両の長手軸に対してほぼ平行に配置されたもの

11/06 ・車両の長手軸に対して斜めに配置されたもの

11/08 ・車両の長手軸に対してほぼ交差するように配置されたもの

11/10 ・車両の車軸または振動部にばねを取付けるのに特に適合した手段に特徴があるもの

11/107 ・滑動または回転するマウント部材 [5]

11/113 ・車軸に取付けたマウント部材 (B 6 0 G 1 1 / 1 0 7 が優先) [5]

11/12 ・リンク, ピン, またはブッシュ

11/14 ・らせん, うず巻線, またはコイルばねのみをもつもの

11/15 ・巻上げにより座屈防止をしてあるコイ

	ルばね [5]		それ自体 F 1 6 F)
11/16	・ 車両の車軸または振動部にばねを取付けるのに特に適合した手段に特徴があるもの	13/02	・ エネルギーを消滅させる, 例. 摩擦的に, 緩衝器をもつもの
11/18	・ ねじり棒ばねのみをもつもの	13/04	・ 機械的なもの, 例. 減衰要素として摩擦を生ずるばねをもつもの
11/20	・ 車両の車軸または振動部にばねを取付けるのに特に適合した手段に特徴があるもの	13/06	・ 流体式のもの
11/22	・ ゴムばねのみをもつもの	13/08	・ ・ ・ 液圧によるもの
11/23	・ ・ ねじれエネルギー吸収型のもの [5]	13/10	・ ・ ・ 気体圧式のもの
11/24	・ 車両の車軸または振動部にばねを取付けるのに特に適した手段に特徴があるもの	13/12	・ ・ ・ 準流体, すなわち粉末の媒介物をもつもの
11/26	・ 流体ばねのみをもつもの, 例. ハイドロニューマティックばね (B 6 0 G 1 5 / 1 2 が優先)	13/14	・ 利用できるエネルギー, 例. 圧搾空気, を蓄える緩衝器をもつもの
11/27	・ ・ なかの流体が気体であるもの [5]	13/16	・ 主たる緩衝装置として動的緩衝器, すなわち位相のずれた振動をするばね-質量システム, をもつもの
11/28	・ 車両の車軸または振動部にばねを取付けるのに特に適した手段に特徴があるもの	13/18	・ ・ エネルギー吸収装置と結合したもの
11/30	・ 流体ばねのための圧力流体アキュムレーター, 例. 車両のフレームに配置されたアキュムレーター, をもつもの	15/00	結合されたばねと振動緩衝器, 例. テレスコピック型, の配列, 位置または形状に特徴がある弾性的懸架装置 (結合されたばねと振動緩衝器それ自体 F 1 6 F) [5]
11/32	・ 異なる種類のばねをもつもの	15/02	・ 機械的なばねをもつもの
11/34	・ ・ 板ばねを含むもの	15/04	・ 機械的なばねと機械的な緩衝器をもつもの
11/36	・ ・ ・ 板ばねとらせん, うず巻線, またはコイルばねを含むもの	15/06	・ 機械的なばねと流体式緩衝器をもつもの
11/38	・ ・ ・ 板ばねとゴムばねを含むもの	15/07	・ ・ ・ 緩衝器が短車軸に連結され, ばねが緩衝器のまわりに配置されるもの [5]
11/40	・ ・ ・ ・ ゴムばねが車軸に取付けられているもの	15/08	・ 流体ばねをもつもの
11/42	・ ・ ・ ・ ゴムばねが車両の振動部に取付けられているもの	15/10	・ 流体ばねと機械的な緩衝器をもつもの
11/44	・ ・ ・ 板ばねとねじり棒ばねを含むもの	15/12	・ 流体ばねと流体式緩衝器をもつもの
11/46	・ ・ ・ 板ばねと流体ばねを含むもの	15/14	・ ・ ・ 緩衝器が短車軸に連合され, ばねが緩衝器のまわりに配置されるもの [5]
11/48	・ 板ばねを含まないもの	17/00	車両または走行路面の状態の変化, 例. 速度または荷重による, に合わせて, ばねまたは振動緩衝器の特性を調節したり, 車両の支持面と振動部との間隔を調整したり, または使用中の懸架装置をロックしたりする手段をもつ弾性的懸架装置 [5]
11/50	・ ・ ・ らせん, うず巻線, またはコイルばねと, ねじり棒ばねとをもつもの	17/005	・ 懸架装置をロックするようにしたもの [5]
11/52	・ ・ ・ らせん, うず巻線, またはコイルばねと, ゴムばねとをもつもの	17/015	・ 電気または電子要素からなる調整手段 (B 6 0 G 1 7 / 0 0 5 が優先) [5, 8]
11/54	・ ・ ・ らせん, うず巻線, またはコイルばねの中に配置されたゴムばねをもつもの	17/016	・ 車両が走行している場合の, 特定の動作, 特定の状況, または運転者の入力に対する調整手段の反応に特徴のあるもの [8]
11/56	・ ・ ・ らせん, うず巻線, またはコイルばねと, 流体ばねとをもつもの	17/0165	・ ・ ・ 外的条件に対するもの, 例. 未舗装の路面, 横風 [8]
11/58	・ ・ ・ ・ 同軸に配置されたもの	17/017	・ 車両が停止している場合の, 調整手段の使用に特徴のあるもの, 例. 荷積み中, エンジンの始動または停止中におけるもの [8]
11/60	・ ・ ・ ゴムばねとねじり棒ばねの両方をもつもの	17/018	・ 特定の信号処理または調整方法の使用
11/62	・ ・ ・ ゴムばねと流体ばねの両方をもつもの		
11/64	・ ・ ・ ねじり棒ばねと流体ばねの両方をもつもの		
13/00	振動緩衝器の配列, 位置, または形式に特徴がある弾性的懸架装置 (緩衝効果を調整するもの B 6 0 G 1 7 / 0 6 ; 振動緩衝器		

	に特徴のあるもの [8]		
17/0185	・ ・ ・ 故障検出のためのもの [8]	21/08	・ ジャイロ스코ープの使用により特徴づけられたもの（懸架装置を制御しないで車体を安定化するためのジャイロ스코ープ B 6 2 D 3 7 / 0 6） [4, 5]
17/019	・ ・ センサーのタイプまたはその配置に特徴のあるもの [8]	21/10	・ 常時相互連結されてはいないもの、例、加速時のみ、減速時のみ、または舵取り装置の非直線位置でのみ作動するもの
17/0195	・ ・ 他の車両の制御方式と結合された調整に特徴のあるもの [8]	23/00	車輪前方の粗面度の自動検出手段、またはそれによって車輪を上下に動かす自動上下運動手段をもつ車輪懸架装置
17/02	・ ばねの特性（B 6 0 G 1 7 / 0 0 5 ~ B 6 0 G 1 7 / 0 1 5 が優先） [5]	99/00	このサブクラスの他のグループに分類されない主題事項 [2 0 1 0. 0 1]
17/027	・ ・ 流体手段により調整される機械的なばね（B 6 0 G 1 7 / 0 3 3 が優先） [5]		
17/033	・ ・ 2 つ以上のばねに作用する調整手段に特徴があるもの [5]		
17/04	・ ・ 流体ばねの特性		
17/044	・ ・ ・ セルフポンピング流体ばね（液体用ポンプ F 0 4） [5]		
17/048	・ ・ ・ 流体ばねの内部に調整手段をもつもの（B 6 0 G 1 7 / 0 4 4 が優先） [5]		
17/052	・ ・ ・ 空気ばねの特性（B 6 0 G 1 7 / 0 4 8 が優先） [5]		
17/056	・ ・ ・ 調整分配器または調整弁（B 6 0 G 1 7 / 0 4 4 ~ B 6 0 G 1 7 / 0 4 8 が優先） [5]		
17/06	・ 緩衝器の特性（B 6 0 G 1 7 / 0 1 5 が優先） [5]		
17/08	・ ・ 流体式緩衝器の特性（流体式緩衝器の調整一般 F 1 6 F 9 / 4 4 ~ F 1 6 F 9 / 5 3）		
21/00	2 以上の弾性的に懸架された車輪のための相互連結方式、例、加速、減速または遠心力に関して車体を安定させるためのもの（B 6 0 G 1 7 / 0 3 3 が優先；曲線路上で車体を内方に傾斜させるための手段と結合された転向できる車輪の操向 B 6 2 D 9 / 0 2） [5]		
21/02	・ 常時相互連結されているもの		
21/04	・ ・ 機械的に相互連結されているもの		
21/045	・ ・ ・ 車両の同じ側、すなわち、左側または右側の異なる車軸上の車輪間に相互連結されているもの [5]		
21/05	・ ・ ・ 車両の同じ車軸上の左右の異なる側の車輪間に相互連結されているもの、すなわち、相互連結された左右の車輪懸架装置の車輪間に相互連結されているもの [5]		
21/055	・ ・ ・ ・ スタビライザーバー [5]		
21/06	・ ・ 流体的に相互連結されているもの		
21/067	・ ・ ・ 車両の同じ側、すなわち、左側または右側の異なる車軸の車輪間に相互連結されているもの [5]		
21/073	・ ・ ・ 車両の同じ車軸の左右の車輪間、すなわち、相互連結する左右の車輪懸架装置の車輪間に相互連結されているもの [5]		